

引き続き、強固な経営基盤を築いてまいります。

業績ハイライト — 中間決算のポイント

※ 金額は単位未満を切り捨てて表示しています

平成20年9月中間期は、本業である預金・貸出金業務は順調に推移したものの、有価証券利息配当金が25億円の減少となったことなどから資金利益は11億円の減少となりました。また、株式市況低迷による預り資産の販売不振に伴う手数料収益の減少、ならびに米国発の金融危機の影響により国債等債券償却が28億円発生したことで、業務粗利益全体では24億円の減少となりました。さらに、景気低迷による格付のランクダウン等に伴い与信コストが49億円増加したことなどから、業務純益は31億円（前年同期比▲67億円）、経常利益は6億円（同▲81億円）、中間純利益は3億円（同▲31億円）となりました。引き続き、収益力の強化に努めてまいります。

(単位:億円)

	平成19年9月期	平成20年9月期	前年同期比
業務粗利益	325	300	-24
資金利益	296	285	-11
役務取引等利益	43	36	-7
その他業務利益	-14	-21	-6
うち国債等債券償却 (△)	—	28	28
経費 (△)	226	234	7
一般貸倒引当金繰入額① (△)	—	34	34
業務純益	98	31	-67
臨時損益	-11	-25	-14
うち不良債権処理額② (△)	16	20	4
経常利益	87	6	-81
特別損益	-2	-0	1
うち貸倒引当金戻入益③	10	—	-10
中間純利益	34	3	-31
与信コスト (① + ② - ③)	5	55	49